

令和5年度 かの木園 職員による自己評価 集計

【配布対象職員20名】

		項目	はい	いいえ	無記入	意見	意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	16	4	0	・パーテーション等で部屋を区切っている。 ・部屋の広さに応じた人数にしている。 ・少し狭く感じることもある。 ・感覚統合室は2人だと十分に身体を動かすには狭い。	年齢や身体の高さを考慮しながら、スペースに合った利用定員を調整していきます。
			80.0%	20.0%	0.0%		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	・昨年度意識して最低限の療育者で関わっていたと思うが、本年度は多いこともある気がする。 ・クラスや子どもの人数によって多いと感じる時もある。 ・職員の方が多いことがあるくらい ・時々多い時はある。 ・現在の配置数で対応する利用者数について検討を重ねている。	職員数が十分に確保されているので、子どもの特性や活動内容に合わせて職員を適切に配置していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	1	0	・エレベーターがある。 ・感覚統合室は棚の整理が必要。機能訓練室は視覚情報量が多い。	引き続き、子どもや保護者にとって過ごしやすい空間となるように環境整備に取り組んでいきます。
			95.0%	5.0%	0%		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1	0	・オムツを捨てることになっているが、ペーパータオルを捨てる所ではなく、専用のごみ箱があればより良く、回収もしやすい。 ・広めの部屋は限られるため、空間に合わせた活動となることがある。	現在、おむつ専用のごみ箱を設置しています。引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境の確保と共に、活動内容に応じた空間を設定していきます。
			95.0%	5.0%	0.0%		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	20	0	0	・振り返りは毎日している。	PDCAサイクルでの療育記録を用いて職員間での話し合いの改善・向上を図っています。また、全体でのケースカンファレンスなどを通し、職員が療育を振り返る機会を増やしています。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	20	0	0	・このアンケートを毎年行っている。	引き続き、保護者による事業所評価を基に職員間ミーティングを行い、次年度の療育につなげていきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	8	0	・ホームページでは公開していない?(準備中) ・ホームページはないがマチコミで流している。 ・作ろうとしている。	現在ホームページで公開しています。情報公開について職員間での周知も進めていきます。
			60.0%	40.0%	0.0%		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	11	2	・かの木園は公立なので、市役所で担えないことを外部講師が携わって下さっている。 ・外部評価は行っていないので、取り入れるようにしていく。	庁内評価や監査は実施しています。外部から招いた専門家の指導を療育内容の改善にも繋げています。第3者評価についても実施を検討していきます。
			35.0%	55.0%	10.0%		
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	19	0	1	・研修やケース勉強会を行っている。 ・月2回ケースカンファレンスを行っている。また、外部講師による指導機会の確保、外部研修の予算確保を行っている。	今後も、研修機会を確保し職員の知識・技能の向上を図っていきます。
			95.0%	0.0%	5.0%		

令和5年度 かのの木園 職員による自己評価 集計

【配布対象職員20名】

		項目	はい	いいえ	無記入	意見	意見を踏まえた対応
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもや保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	20	0	0	・園長先生がしている。 ・同じセンター内の相談部門の心理相談員と連携してアセスメントを行ったり、事業所内でも行っている。	今後も、個々に応じて適切に児童発達支援計画を作成し、療育を実施していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	18	2	0	・ケース検討会議、レーダーチャートはアセスメントツールに当たるのか。 ・K式検査をとっている。 ・年1回は発達検査が出来るように保護者に案内している。 ・アセスメントツールの拡充は必要と感じる。 ・新版K式発達検査を使用している。	通園児に対し定期的に新版K式発達検査を実施し、結果を職員間で共有し療育内容の参考としています。また、各専門職も必要に応じてチェックリストや質問紙法などを使用しアセスメントを行っています。
			90.0%	10.0%	0.0%		
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	0	0		引き続き、保護者からの聞き取りや所属園所との連携を行い、丁寧な「家族支援」「地域支援」を行っています。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0		引き続き、定期的にモニタリングを行い、個別支援計画に基づいた療育を実践していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19	1	0	・意見を聞くことはしているが、立案は各担当者やリーダーがしていることが多い。	日々の療育の振り返り等を通して次回の療育に活かしています。カンファレンスも継続して実施しています。今後も意見交換を活発に行うことで療育に反映させていきます。
			95.0%	5.0%	0.0%		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	19	1	0	・似たようなことをしている時もあると思う。 ・昨年のプログラムを踏襲していることも多い。	日々の療育内容については、職員間で意見交換を活発に行いながら新たな知見を取り入れ、創意工夫していきます。
			95.0%	5.0%	0.0%		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	20	0	0		引き続き、子どもの特性や発達状況に合わせた療育を提供できるように考え、児童発達支援計画を作成していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑰	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	20	0	0		今後も、個別・集団療育共に適宜実施していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	20	0	0	・時間内に終わらなかったら別日に設定している。	今後も、個別・集団療育共に適宜実施していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20	0	0	・記録の方法については、より効率的、必要な項目等の検討が必要である。	今後も、より良い支援の検証・改善に繋げていきます。記録の記載方法については定期的な見直しをしています。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	20	0	0		日々、療育内容を見直して改善につなげています。
			100.0%	0.0%	0.0%		

令和5年度 かの木園 職員による自己評価 集計

【配布対象職員20名】

		項目	はい	いいえ	無記入	意見	意見を踏まえた対応
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	18	2	0	・サービス担当者会議の設定が出来ていない。	会議が開催される際は、適切な職員が参加出来るよう調整しています。
			90.0%	10.0%	0.0%		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関との連携した支援を行っているか	20	0	0	・2か月に1回の会議に参加し連携している。	関係課と連携をとりながら支援を行っています。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	20	0	0		必要に応じて、適宜関係機関と連携をとりながら支援を行っています。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	20	0	0	・現在、医療的ケアが必要な児は少ない。	必要に応じて医療機関等と連携をとっています。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20	0	0	・公立園の先生は発達相談に同席している。私立園の先生も来ている時がある。 ・ケア会議をしている。	今後も継続して、情報共有と相互理解を図っていきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	19	1	0	・特別支援学校に情報共有しているかは不明。	就学予定校(特別支援学校を含む)とのケア会議を実施しています。
			95.0%	5.0%	0.0%		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	18	2	0	・明日香養護学校の研修に参加した。 ・リハセンと連携。 ・外部研修への参加、外部講師を招いての研修会の実施に取り組んでいる。	他の専門機関と連携し助言や研修を受けています。
			90.0%	10.0%	0.0%		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	14	0	・コロナのためか？ ・在宅児はプレ園に行っていないと、交流がない児もいるかと思う。 ・コロナ以降降になっている。 ・就園している児のみだと思う。 ・保育園に併用通園。 ・コロナ前は小学校との交流があった。 ・通園児の所属園との連携のなかで交流している。	並行通園児が多いため事業所としては機会を設けていませんが、在宅児に対しては、地域の園所での未就園登園や園庭開放の利用を提案しています。
			30.0%	70.0%	0.0%		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	20	0	0	・「医療と福祉部会」に参加している職員がいる。 ・管理職・正規職員が行っている？	子ども部会へは課職員が参加しています。日中活動部会へはかの木園職員が参加しており今後も会議内容を共有していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	20	0	0	・保護者には療育時に館内に居て頂き、療育開始直後・終了後に伝える機会を持っている。	今後も継続して、保護者との共通理解を持つ機会をつくっていきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	17	2	1	・ペアレントトレーニング等を定期的に行うことが出来る職員体制の整備が必要。 ・対象が限定されている。 ・センター内の相談部門で行っている。プログラムを必要な方に紹介したり、保護者研修の内容に取り入れられたりしている。	今年度も保護者向け研修会を実施しました。引き続き保護者の方のニーズに応えられるように支援の充実を図っていきます。
			85.0%	10.0%	5.0%		

令和5年度 かの木園 職員による自己評価 集計

【配布対象職員20名】

		項目	はい	いいえ	無記入	意見	意見を踏まえた対応
保護者への説明責任等	㉔	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20	0	0	・正規職員がしていると思う。	今後も継続して丁寧な説明に努めます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉕	児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画書」示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	20	0	0		今後も継続して実施していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	20	0	0	・個人懇談を積極的に行っている。	今後も継続して実施していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉗	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	19	0	1	・分からない。 ・親の会の役員確保が課題である。 ・休止していた親の会の活動再開を支援し、親の会主催行事のサポートを行った。	今年度は、親の会活動を再開しました。今後も保護者の意見を尊重して活動を支援していきます。
			95.0%	0.0%	5.0%		
	㉘	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	0	0	・相談申し込み用紙を配布し、申し込みしやすいようにしている。	これからも迅速かつ適切に対応していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20	0	0	・マチコミで流している。 ・園便りの配信を行い、紙面でも自由に手に取れるようにしている。 ・毎月発行し、マチコミアプリでも配信している。	引き続き、丁寧な情報発信に努めていきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉚	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	20	0	0	・鍵付きファイル庫で個人ファイルを保管している。	引き続き、個人情報保護には十分に注意していきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	19	0	1		これからも継続して対応していきます。
			95.0%	0.0%	5.0%		
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	12	0	・現在、コロナ等の感染症予防から、通所児の関係者に限定している。	会報等を通じて活動の情報を積極的に発信しています。実習生や学生ボランティアの受け入れや、地域のボランティア団体との相互協力も積極的に行っています。
			40.0%	60.0%	0.0%		

令和5年度 かの木園 職員による自己評価 集計

【配布対象職員20名】

		項目	はい	いいえ	無記入	意見	意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㊴	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	19	0	1	・保護者に周知は出来ていないと思う。 ・防犯マニュアル、避難訓練については保護者への周知をする必要がある。	保護者に対し各マニュアルの説明を行っています。今後も必要に応じて策定・見直しを行い周知していきます。
			95.0%	0.0%	5.0%		
	㊵	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18	2	0	・子どもと一緒に行くべきではと思う。	現在は職員間で防火訓練を行っています。今後の実施方法については随時検討していきます。
			90.0%	10.0%	0.0%		
	㊶	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	20	0	0		疾患等の子どもの状況は書面・聞き取りで確認しています。医療的知識についても職種に関わらず深めていきます。
			100.0%	0.0%	0.0%		
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	10	0	・指示書は見たことがない。 ・医師の指示書は見えていない。 ・現在はおやつ提供等はしていないが、今後検討は必要と考えられる。 ・保護者にアレルギーの有無を確認し必要な対応に繋げている。	基本的に食事提供はないですが、保護者に書面や口頭で確認しています。また、小麦粉粘土等で遊ぶ際は、保護者への聞き取りの上、配慮して実施しています。
			50.0%	50.0%	0.0%		
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	19	1	0	・各部屋に用紙を常備しすぐに記入出来るようにしている。	ヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有しています。
			95.0%	5.0%	0.0%		
	㊹	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19	0	1		虐待防止については関係課と連携を取り対応しています。
			95.0%	0.0%	5.0%		
	㊺	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15	4	1	・身体拘束を必要とすると判断したケースはない。今後も、子どもの発達を支援する他の方法を模索していくスタンスである。	原則として身体拘束は行わない方針であり、やむを得ない場合は、保護者同意のもと、個別支援計画にも明記の上で行うべきだと認識しています。
			75.0%	20.0%	5.0%		